

令和5年度（2023）

学校関係者評価報告書

学校法人 SOLA 学園

沖縄医療工学院

(1) 教育理念・目標・人材育成像		評価
(1) -1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3.0
(1) -2	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	2.8
(1) -3	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.2
(2) 学校運営		評価
(2) -1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2.5
(2) -2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2.4
(2) -3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	2.5
(2) -4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2.5
(2) -5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.6
(2) -6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2.8
(2) -7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.9
(3) 教育活動		評価
(3) -1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.0
(3) -2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.1
(3) -3	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.0
(3) -4	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.1
(3) -5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.3
(3) -6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.4
(3) -7	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.2
(3) -8	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.4
(3) -9	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.8
(3) -10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.8
(4) 学修成果		評価
(4) -1	就職率の向上が図られているか	3.4
(4) -2	資格取得率の向上が図られているか	3.2
(4) -3	退学率の低減が図られているか	3.0
(4) -4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.9
(5) 学生支援		評価
(5) -1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.5
(5) -2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.5
(5) -3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.2
(5) -4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.9
(5) -5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.9
(5) -6	保護者と適切に連携しているか	2.8
(6) 教育環境		評価
(6) -1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.5
(6) -2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	2.8
(6) -3	防災に対する体制は整備されているか	2.8
(7) 学生の受入れ募集		評価
(7) -1	学生募集活動は、適正に行われているか	2.6
(7) -2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2.8
(7) -3	学納金は妥当なものとなっているか	3.0
(8) 財務		評価
(8) -1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.3
(8) -2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.3
(8) -3	財務について会計監査が適正に行われているか	2.6
(8) -4	財務情報公開の体制整備はできているか	2.7

(9) 法令等の遵守		評価
(9) - 1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2.8
(9) - 2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2.9
(9) - 3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.0
(9) - 4	自己評価結果を公開しているか	2.8
(10) 社会貢献・地域貢献		評価
(10) - 1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.9
(10) - 2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.1
(10) - 3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.7
(11) 国際交流（必要に応じて）		評価
(11) - 1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3.0
(11) - 2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	2.9
(11) - 3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2.7
(11) - 4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2.5
課題・意見等あればご記入下さい		
課題・・・システムの安定化/イベントの充実/国家試験合格率100%を目指す/研修を適宜行う/学生のための学校・環境作り等		

令和5年度 学校関係者評価委員会 自己点検・評価

沖縄医療工学院

1. 概要

教職員による自己点検・評価アンケートは、文科省推薦の全国専門学校教育研究会策定の「自己点検・評価作成マニュアル」を基本に、1月30日に全教職員を対象に実施し集計を行った。

また、3月に学内評価委員会により、自己採点評価を行い、評価項目内容について改善すべき事項を抽出し、総合的に評価を実施した。

2. 主な内容

(1) 教育理念・目標・人材育成像

在校生に対しては、学生のしおりに記載し4月のオリエンテーション時に配布し周知を行っている。

教職員に対しては、9月に2日間の日程で行った職員研修で学校運営基本方針の周知、各学科・各部署の方針及び情報共有をした。職員研修1日目では、「学則・学生のしおりの変更について」、外部講師を招きゲートキーパーの役割と支援の方法について理解を深め「学生との関わり方について」、「就業規則について」、「入試管理システムの操作説明」のプログラム構成で行った。2日目の研修では、消防・消火訓練を実施、「満足度向上の取組」をテーマにグループワークを行い、本校の在り方を教職員間で共有した。職員研修の運営方法、時期に応じた内容など諸々の反省点はあったが、事後アンケート結果を踏まえると概ね好回答であった。次年度も研修会等の頻度・内容の充実を図っていく。

11月には、学生が就学しやすい環境設定と教職員が働きやすい職場環境の実現を目的として全教職員を対象にハラスメント研修を実施した。事後アンケート結果を踏まえ、倫理委員会で今後の対応等を検討していく。また次年度は、学生に対してもハラスメント研修を実施していく。

学外には、学校パンフレット・学校ホームページに掲載し適切に公表している。

(2) 学校運営

運営方針や事業計画について、学校パンフレット・学生のしおり・学校ホームページ上で明記している。また、学生の保護者へ前期・後期に2回に分けて学校の活動、実績報告・運営状況を文書にて伝え、ご理解いただいている。

教育活動については、教育課程表を学生のしおり・学校ホームページに掲載、シラバスは学校ホームページに掲載しており、情報公開を行っている。

今年度は校務運営委員会（行事实行委員会・倫理委員会・学生委員会・地域活動委員会・衛生委員会）の立ち上げや各位委員会が主催となり活動を行い奮闘した1年であったため、次年度に向けて学校の質の向上を目指すことが課題となった。

(3) 教育活動

教育課程について、年2回の教育課程編成委員会を設置し、有識者・企業等委員からの意見を取り入れ、職業教育に特化した教育課程の編成に繋がっていることが評価されている。

教職員の専門性や指導能力の向上を行うため外部機関が実施する学科関連の学会や研修、専門学校主催研修、各種コンクール等には積極的に参加を進めた。次年度も、職員の技能・指導力向上に努めていく。

(4) 学修成果 (令和4年度)

今年度の就職・資格取得・退学については、集計が年度途中のため、次年度の学校関係者評価委員会で報告とする。今回は前年度(令和4年度)の実績報告を行う。

①就職率 (令和4年度実績)

救急救命士学科 (30名)	53% (16名) ※大学進学者 (1名)
臨床工学技士学科 (22名)	72% (16名) ※大学進学者/希望者 (2名/3名)
柔道整復師学科 (17名)	94% (16名)
製菓製パン学科 (9名)	78% (7名)
スポーツ健康学科 (18名)	83% (15名) ※大学進学者 (3名)

②資格取得率 (令和4年度)

救急救命士学科 (30名)	救急救命士国家資格	70% (21名)
臨床工学技士学科 (22名)	臨床工学技士国家資格	82% (18名)
柔道整復師学科 (18名)	柔道整復師国家資格	33% (6名)
製菓製パン学科 (9名)	製菓衛生師国家資格	56% (5名)
スポーツ健康学科 (18名)	NSCA	89% (8名)
※NSCA 受験者数9名・健康運動実践指導者16名	健康運動実践指導者	81% (13名)

③退学率 (令和4年度)

救急救命士学科	6% (19名)
臨床工学技士学科	3% (10名)
柔道整復師学科	3% (10名)
製菓製パン学科	1% (2名)
スポーツ健康学科	4% (12名)

救急救命士学科の就職率が低い点については、学生の希望する就職先が公務員のため、公務員試験の対策に力を入れていかなければならない。

其他国家試験合格率・就職率を向上させるため、各学科・各部署とも連携を取り改善していかなければならない。

前年度の退学率を鑑みて今年度は、全学生の5%未満を目標としている。また、学生相談室の開設や学生意見箱の設置を行い、悩みを持つ学生の早期対応や継続的な対応をし、退学希望者には早期に（二者・三者）面談を行い、学生支援の充実化を図る取り組みの強化を行った。

（5）学生支援

担任制を採用し、日常的な面談を実施している。また、学生相談室の開設や全学生を対象とした学生面談を行い、学生の相談・メンタルケアを行っている。教職員の連携として学科長会議などで学生指導の状況報告を通じて情報共有を図っている。学生面談記録や指導記録は文書化され保管されている。

入学前においてはオープンキャンパス・体験授業・学校説明会で生徒及び社会人、保護者の方々に対して、学校の特性や教育理念など明示され人材育成に関する将来像を説明している。

（6）教育環境

施設・設備については、施設設備の老朽化、機器や備品の故障等の対応を随時行っていく計画である。

学外の研修について、臨床工学科・救急救命学科の病院実習、スポーツ健康学科の企業実習、柔道整復学科の臨床実習が滞りなく実施された。

（7）学生の受入募集

学生募集については、オープンキャンパスや学校説明会でパンフレットを配布し、丁寧な説明を行っている。また、経済的に支援が必要な学生については、奨学金情報の周知徹底を行い、学ぶ機会の継続に努めている。

（8）財務

学校財務について、長期的なビジョンを基に中期的・短期的計画を立案し、計画に沿って実施を行っている。年度予算編成及び執行については、規定に基づき適切に対応されている。

財務情報については、学校ホームページ上に公開を行っている。

（9）法令等の遵守

各種専修学校設置基準を遵守し、各学科主管のガイドラインに沿った適正な運営を行っており、組織的に自己点検・評価委員会を継続的に実施している。また、学校関係者評価委員会報告書や職業実践専門課程報告文書の公開を、学校ホームページ上で行っている。

(10) 社会貢献・地域貢献

各業界団体との連携を行い、NAHA マラソン・久米島マラソン・渡嘉敷マラソンの救護ボランティアや地域貢献ビーチクリーン活動 IN アラハビーチ・トロピカルビーチに参加した。

10月は各学科の学事報告を兼ねた学園祭を実施し、日頃の学習成果を保護者・友人・他学科の学生に披露する貴重な機会となった。

次年度の展望として、本校が地域に開いた学校となるように積極的に公開講座や学園祭等のイベントの実施を目指す。

(11) 国際交流

次年度より留学生メインの新設学科設置に伴い、ネパール人と中国人の留学生を受け入れ予定。次年度は学科横断的な交流の仕組み作りを活発化していく。